

日本植物形態学会会則

総則

第1条 本会は日本植物形態学会 (The Japanese Society of Plant Morphology) という。
第2条 本会は植物形態学の発展と普及を図り、あわせて会員相互の親睦を深めるのを目的とする。
第3条 本会は前条の目的を達成するために会報等の出版物の刊行、講演会など、そのほか必要と思われれる事業を行なう。

会員

第4条 本会の会員は次の2種とする：通常会員・団体会員。
第5条 通常会員とは所定の会費を納める者をいう。
第6条 団体会員とは所定の会費を納める団体をいう。ただし、団体会員は本会役員を選出・被選出にかかわる権利を持たない。また、第20条に定める会員の選出・被選出のうち、本会の刊行物の配布にかかわる権利のみを有する。

役員

第7条 本会には次の役員を置く：会長1名・幹事若干名・評議員若干名・編集委員長1名・編集委員若干名・会計監査1名。
第8条 役員は会員の中から選出し任期は2年とする。
第9条 会長は全会員の投票により就任の前年度中に選出される。会長は引き続き3期選出されることはできない。
第10条 評議員は全会員の投票によって選出される。評議員は引き続き3期選出されることはできない。なお会長および会計監査は評議員を兼任することできない。
第11条 幹事・編集委員長はいずれも会長が委嘱する。会計監査は会長が評議員会にはかり、委嘱する。編集委員は編集委員長が選出評議員会にはかり、会長がこれを委嘱する。
第12条 会長は会務の全体を統括する。編集委員長は会報の編集に関する一切の責任を負う。幹事は庶務・会計・選挙管理など日常の会務を行なう。会計監査は会計を監査する。
第13条 評議員会は評議員会を構成する。評議員会は会長の諮問の範囲で本会の要務を審議する。
第14条 編集委員会は編集委員会を構成する。編集委員会は編集委員長の諮問の範囲で、会報の編集に関する要務を審議する。
第15条 会長は必要に応じて特定の委員会を設けることができる。委員会の任務、委員の選出方法・任期等は評議員会が定める。

会計・会費

第16条 本会の会計年度は1月に始まり12月に終わる。
第17条 通常会員の会費は年1000円とする。団体会員の会費は1口年10000円とする。

総会・講演会等

第18条 本会は原則として毎年1回総会を開き、会務を協議し議決する。なお会長が必要と認めた場合に臨時総会を開くことができる。
第19条 本会は総会の時、研究発表及び講演会などを行なう。このため臨時の役員を置くことができる。臨時の役員は会長が委嘱する。

会員の権利・義務

第20条 会員は会合に出席して講演をし、議事に参加し、会報に投稿することができる。また定期刊行の会報は無料で配布を受ける。ただし、その他の刊行物の配布方法は評議員会の議を経て決定される。
第21条 会員が退会しようとするときは、そのことを本会に通知しなければならぬ。ただし既に納めた会費は一切これを返さない。通常会員および団体会員が会費を滞納したときは直ちに前条の権利は停止され、1か年以上滞納したときは除名されることがある。

会則変更

第22条 本会の会則を変更するには総会または臨時総会でこれを協議し、出席会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

付則

1. この会則は昭和63年1月1日から実施する。
2. 昭和63年1月1日からの会長と評議員については選挙方法を昭和62年に筑波で開催される「日本植物形態学会」設立総会で決定する。
3. 最初の評議員のうち、別に定める申し合わせにより約半数は引き続き2期選出されることは出来ない。この付則 2.3は昭和65年1月1日をもって、申し合わせ3とともに削除する。

申し合わせ

1. 役員の数等は当分下記の通りとする。
会長 1、評議員10、幹事 2 (庶務、会計)、編集委員長 1、編集委員 2、会計監査 1。
2. 会長の選挙は単記、評議員の選挙は10名連記で、全会員の郵送による無記名投票によっておこなう。
3. 最初の評議員をアイウエオ順にならべて番号を付し、偶数番号の評議員は引き続き2期選出されることができない。

資料—1. これまでのあゆみ

年	事項	情報
1985年	本学会設立のための趣意書案検討開始(10月2日)	世話人7名で開始
1986年	設立準備委員会発足(10月8日) <役員決定による任務完了により1988年4月5日解散>	設立準備委員(15名) 原囊,植田勝巳,小野莞爾,加藤雅啓, 黒岩常祥,佐藤利幸,三戸信人,田中健治, 田中隆荘,長田敏行,新津恒良,福田泰二, 堀輝三,増田恭次郎,村上悟
1987年	本学会会則決定(11月26日)	日本植物学会第52回大会(筑波大学)の関連集会にて決定
1988年	日本植物形態学会発足(1月1日)	会員数:155名
	会長および評議員選挙・開票(3月19日)	於:基礎生物学研究所 立会い:田中健治 投票数:107票
	役員内定(3月26日)	原会長,黒岩,新津両評議員,田中健治氏による会合で決定
1991年	植物形態コロキウム開始(3月)	植物形態学会有志による活動 詳細案内:今市涼子
	植物形態ワークショップ開始(5月11日)	詳細案内:田中健治
1996年	植物形態学会3賞開始(10月)	
2005年	懇親会開始(9月20日)	第17回植物形態学会後の懇親会が第1回
	「形態学会将来計画WG」発足	
2006年	「形態学会将来計画WG」最終報告書作成(9月13日)	
2007年	日本学術会議協力学術研究団体に指定(11月22日)	
2008年	会費および大会参加費改定(9月24日)	学生会員年会費:2,000→1,000円へ 非会員の大会参加費を設定 一般3,000円,学生2,000円 (会員は各1,000円)
2009年	特許庁指定学術団体に指定(2月)	
2010年	Journal@rchiveよりPlant Morphology 1～20巻 一般公開開始(7月)	
	J-STAGEに採択(9月)	
2012年	学会誌掲載論文の機関リポジトリ許諾に関する学会のポリシー決定	

年	事項	情報
2014年	Atlas of Plant Cell Structure出版(25周年記念事業として)	
	生物科学学会連合へ加入	
2016年	学会ホームページリニューアル	
2017年	「日本植物形態学会大会検討WG」発足	委員長:山形大 宮沢豊会員 2018年(平成30)年に最終報告書
2018年	「日本植物形態学会大会検討WG」最終報告書作成	
2019年	ポスター賞を学生限定に	
	「日本植物形態学会30年のあゆみ」をHPに掲載(30周年記念事業として)	